
hello.c ソースファイルの準備

最初の題材となる hello.c のソースリストをエディターで入力します。

リスト1 hello.c

```
1 #include <stdio.h>
2
3 int main() {
4     printf("Hello, world!\n");
5     return 123;
6 }
```

説明の都合上、ソースリスト左端に行番号を添付していますが、入力時には省略してください。cat コマンドで hello.c の内容を確認した際、次のように表示されれば、問題ありません。

実行例1 hello.c の内容確認

```
$ cat hello.c
#include <stdio.h>

int main() {
    printf("Hello, world!\n");
    return 123;
}
```

hello.c の内部では4行目で printf 関数を用いて標準出力装置 (stdout: STanDard OUTput) に Hello, world! を表示し、5行目で終了ステータスコードとして 123 を返しています。先頭行でシステムヘッダーファイルである stdio.h をインクルードしていますが(注1)、その意味については第3章で詳しく考察します。

注1) 拡張子 h は、ヘッダーファイル (Header file) の頭文字。stdio は STanDard Input/Output の略。